

## 目標達成計画

作成日: 平成25年 7月 25日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		ビルの設備や、各々の身体状況や生活背景など様々な要因も有り、外出をはじめ、地域との交流が殆ど無くなっている。	運営者及び事業所が、地域密着型サービスの役割である地域との架け橋に成り、入居者様方が本当の意味での地域住民として暮らせる。	運営推進会議の定期的な開催を軸に、事業所としての町会への加入を行い、またボランティア等も上手に活用し、少しずつ地域との交流を深めていくよう努める。	3ヶ月
2		災害や緊急時の対応として、消防点検や訓練を受けているも、それを継続し、随時内容の改善を行う事が必要である。	スタッフ全員が常に最善のマニュアルを把握し、また災害時には近隣の協力を頂きながら、入居者様の安全を確保できる様に努める。	定期的な訓練や指導を受けながら、災害時等のの備蓄品の改善確保を行う。また地域との合同訓練や、相互の支え合いを形に出来る様、会議などを通し話し合い深めていけるよう努める。	3ヶ月
3		事業所としての理念等は有るも、シフトや業務内容の影響も有り、サービス担当者会議を除く、日々のミーティングや申し送り以外では、事業所としてのスタッフ全体の会議が持てずにいる。	働く全てのスタッフが、同じ理念の下生き生きと勤められ、より良いケアサービスや運営に繋がって行く。	昨年春より毎月複数回行われている社内研修の日程に合わせるなどし、スタッフの全員参加を目標に、会議を開催し、業務の見直しやスタッフ間での意見交換、管理者等によるスタッフの個別面談等を行っていく。	1ヶ月
4					
5					

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。